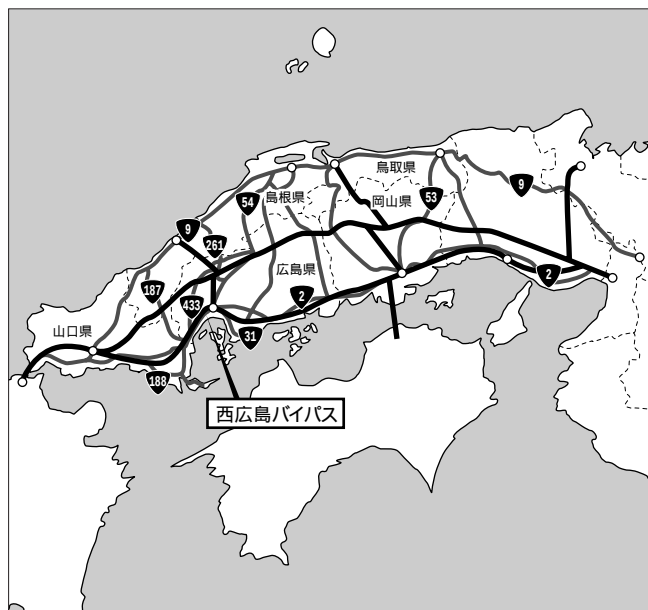


バイパスの開通で新興住宅地の開発・発展を推進

広島市内全域や県外の利用客も増加

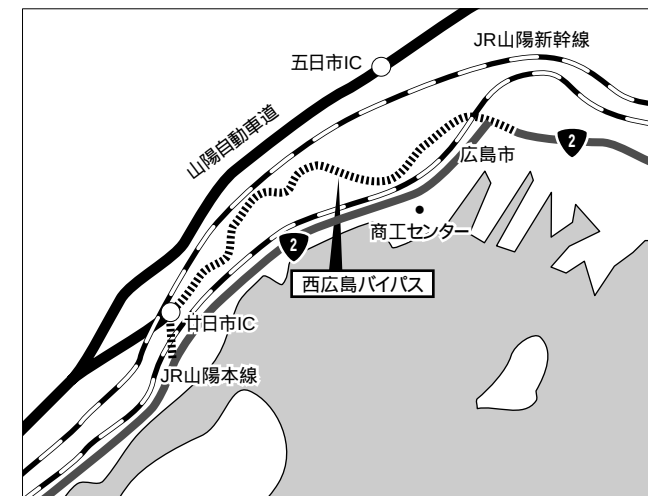
- ・昭和49年4月に開通した西広島バイパスは、総事業費約31億円で九州方面から広島への入口でもある国道2号の交通量の増大に対応。
- ・広島市西部方面(西区の一部、佐伯区、廿日市市)では新興住宅地の開発が盛んに行われ、当該地域の人口の伸び率が際立つ。
- ・商工センター内に大型ショッピングセンター(アルパーク)ができ、当該地域はもちろん広島市内全域や県外の利用客も増加。



● 西広島バイパス周辺

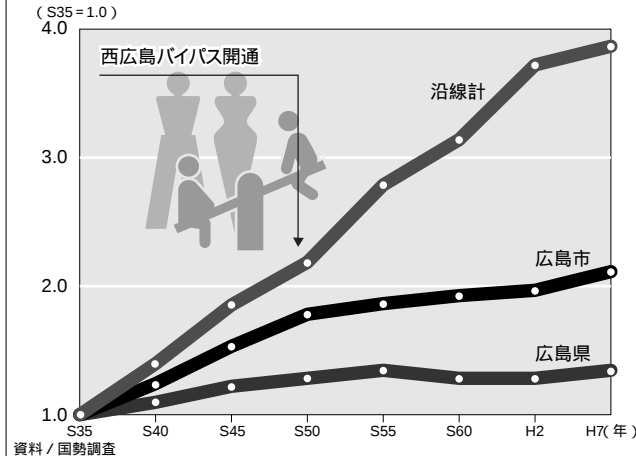


提供 / 中国新聞社



● 県平均に比べ3倍近い人口の伸び率
(西広島バイパス沿線の人口の伸び率)

(S35 = 1.0)



● 大型ショッピングセンターの県外利用客が増加
[アルパーク駐車場利用台数(県外のみ)]

